

衆議院外務委員会ニュース

平成 22.5.26 第 174 回国会第 16 号

5月26日(水)、第16回の委員会が開かれました。

- 1 社会保障に関する日本国政府とアイルランド政府との間の協定の締結について承認を求めるの件(条約第10号)(参議院送付)
- 航空業務に関する日本国と中華人民共和国マカオ特別行政区との間の協定の締結について承認を求めるの件(条約第11号)(参議院送付)
- ・岡田外務大臣、武正外務副大臣、長安国土交通大臣政務官、長島防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・両件について採決を行った結果、いずれも全会一致をもって承認すべきものと決しました。
- (賛成 - 民主、自民、公明、共産、社民)

(質疑者及び主な質疑内容)

木内孝胤君(民主)

- ・日・マカオ航空協定の締結の経緯及び意義は何か。
- ・我が国の北朝鮮による日本人拉致問題の解決に向けた交渉の進捗状況はどのようになっているか。
- ・普天間飛行場移設問題に関して、5月28日発表予定の日米共同声明について岡田外務大臣はどのような見解を持っているのか。

大山昌宏君(民主)

- ・日・アイルランド社会保障協定について、その内容と交渉に至る経緯について伺いたい。
- ・発展途上国等、社会保障制度の整備が遅れている国への我が国からの支援策について伺いたい。
- ・我が国は年金制度の改革を行おうとしているが、社会保障協定に及ぼす影響はあるのか。

平沢勝栄君(自民)

- ・社会保障協定に関し、アイルランド以上に締結が望まれている国との締結が遅れている理由は何か。
- ・我が国との航空協定の締結を希望している国と未だ協定の締結に至らない理由は何か。また、我が国への航空機の乗り入れ又は増便を希望している国に対して、政府はどのような対応をしているのか。
- ・韓国海軍哨戒艦沈没事案における北朝鮮の目的について岡田外務大臣及び長島防衛大臣政務官はどのように考えているのか。

小野寺五典君(自民)

- ・二重払い規模試算(年間21億円、2006年試算)が大きいブラジルとの社会保障協定締結に向けた政府の方針について伺いたい。
- ・普天間飛行場移設問題に関する日米合意は、5月28日に発表されるのか。
- ・鳩山内閣総理大臣が沖縄県知事に対して伝えた、普天間飛行場の移設先を辺野古にするとの案について、岡田外務大臣は了承したのか。

赤松正雄君(公明)

- ・アイルランドの経済・財政はどのような状況であるのか。また、社会保障協定の交渉相手国として優先順位があまり高いと思われないアイルランドと協定締結に至った理由は何か。
- ・従来の航空協定では、運賃の決定について、適当な国際的仕組みや指定航空企業間での合意に基づいて航空当局の認可を受ける旨が規定されているが、日・マカオ航空協定にはその旨の規定がない理由は何か。
- ・普天間飛行場移設問題に関して、政府は沖縄県民の理解を得るため、具体的にどのような対応を考えているのか。

笠井亮君(共産)

- ・我が国は、2007年5月のアジアゲートウェイ構想により航空自由化を推進してきたが、今後、我が国と航空自由化を予定している国はあるのか。
- ・韓国海軍哨戒艦沈没事案に関し、東アジアの軍事的緊張の拡大、悪循環につなげることなく外交、政治的解

決に努めるべきだと考えるが、岡田外務大臣の所見を伺いたい。

- ・鳩山内閣総理大臣は、普天間飛行場移設問題を韓国海軍哨戒艦沈没事案による朝鮮半島の緊張と関連させようとしているように見受けられるが、岡田外務大臣も同様に認識しているのか。